

第5章 地域別構想

1 地域別構想の考え方

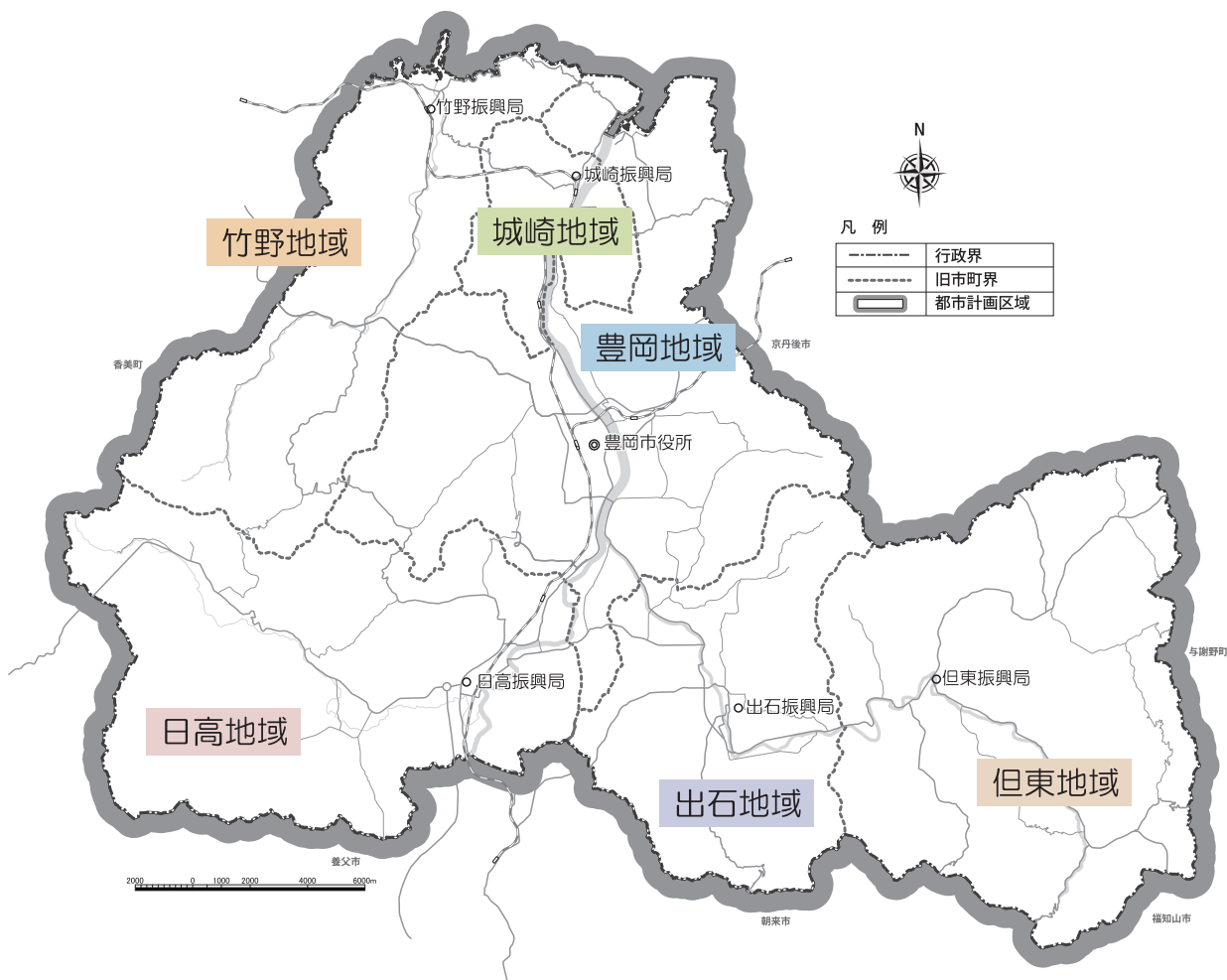
(1) 地域別構想の考え方

地域別構想は、全体構想で示した方針を受け、地域ごとの特性に応じた将来像とより具体的な地域づくりの方針を明らかにしていくもので、各地域におけるまちづくりの目標、指針となるものです。

地域区分は、歴史的なつながりや生活面でのつながり、都市計画の規制状況や面積、人口等、都市を構成する様々な要素の関係性の中で、いくつかのまとまりを捉えて設定します。

(2) 改定都市計画マスタープランの地域区分

本マスタープランでは、地域の歴史的背景と、上位関連計画等における将来のまちづくりや地域づくりの方向性との整合を図る観点から、地域区分を図表5-1に示すとおり、豊岡地域、城崎地域、竹野地域、日高地域、出石地域、但東地域の6つの地域に区分することとします。



図表5-1. 地域区分図

2 地域づくりの方針

(1) 豊岡地域

ア 地域の概要

- (ア) 豊岡地域は、本市中央部に位置し、豊岡盆地を中心に開けた中核的な地域で、円山川の左岸側には多様な都市機能が集積する市街地が形成されている地域です。
- (イ) 過去には大震災や風水害の被害にあってきた地域です。
- (ウ) コウノトリ但馬空港をはじめ、JR山陰本線と京都丹後鉄道宮豊線並びに、東西に通る国道178号と南北に通る国道312号が市街地周辺で結節するなど利便性の高い交通ネットワークが形成されています。
- (エ) 地域の中央には自然豊かな円山川が流れ、市街地の背後には農地や森林が広がっています。
- (オ) 円山川沿いには、溶岩が冷えるときにできる割れ目模様「柱状節理」がおりなす不思議な美しさを見せる玄武洞があります。
- (カ) コウノトリの郷公園が位置し、これを核としてコウノトリの野生復帰の取り組みが行われており、円山川の湿地や周辺の優良な農地には、コウノトリが姿を見せます。
- (キ) 地域北部の円山川河口周辺は、風光明媚な海岸線と山間の緑豊かな自然が見られ、津居山港を中心に漁業が盛んです。

イ 地域の課題

- (ア) 本市の中心部として、多様な世代が安全に安心して暮らすことができる住環境の形成や、潤いのある市街地環境の創出を図る必要があります。
- (イ) 居住環境と商業機能の調和を図ることで、商業の振興や鞆産業に代表される地場産業の振興を図るなど、中心市街地の活性化に努める必要があります。
- (ウ) 北近畿豊岡自動車道や山陰近畿自動車道等の広域交通網の整備も進められており、今後は利便性の高い広域交通基盤を活かした交流の促進に努める必要があります。
- (エ) 周辺に広がる優良な農地や里山の美しい景観を保全し、コウノトリと共生する良好な地域環境と市街地との調和を図る必要があります。
- (オ) 風水害への対応を中心に、災害に強い市街地環境を確保する必要があります。



ウ 地域づくりの将来像と目標

(ア) 地域づくりの将来像

**「活力ある都市の中心地として、
多様な世代が魅力を感じる地域づくり」**

(イ) 地域づくりの目標

- ① 安全で安心して暮らせる住環境の形成
- ② 人がつどい、にぎわう市街地の形成
- ③ 復興の歴史を尊重した町並みの維持保全
- ④ 豊かな水と緑、田園の保全と活用

エ 目標に沿った地域づくりの方針

(ア) 安全で安心して暮らせる住環境の形成

- a 安全で安心な市民生活を確保するため、建物の耐震診断や耐震補強等を促進するとともに、内水対策等の都市基盤の整備充実も進めます。
- b 北近畿豊岡自動車道から公立豊岡病院及びコウノトリ但馬空港等へのアクセス道路の整備を促進し、災害に強い都市構造を構築します。
- c 市街地内に増えつつある老朽危険空き家は、豊岡市空家等対策計画に基づき、官民一体となって除却等の対策を進めます。
- d 災害時に避難場所となるオープンスペースの確保にも努めます。

(イ) 人がつどい、にぎわう市街地の形成

- a JR豊岡駅周辺の中心市街地では、商業、居住、教育・文化、行政、医療・福祉等の都市機能の充実を図ります。
- b 本市のメインストリートとして、JR豊岡駅と国道312号を結ぶ市道大開線において、空き店舗の有効活用等により、回遊性のある賑わいの拠点づくりを進めます。また、まちなかの利便性など居住環境の魅力を高め、まちなかの居住を促進します。
- c 靴等の地場産業の振興を図るため、景観に配慮しつつ、住環境と調和した産業の育成に努めます。
- d 阪神・播磨方面や丹後・鳥取方面との観光交流の促進、物流効率の向上、災害時の円滑な交通の確保等により市の活性化を図るため、北近畿豊岡自動車道及び山陰近畿自動車道の早期整備を促進します。
- e 中央公園等において、安全で安心して遊べるレクリエーション施設の整備を推進します。

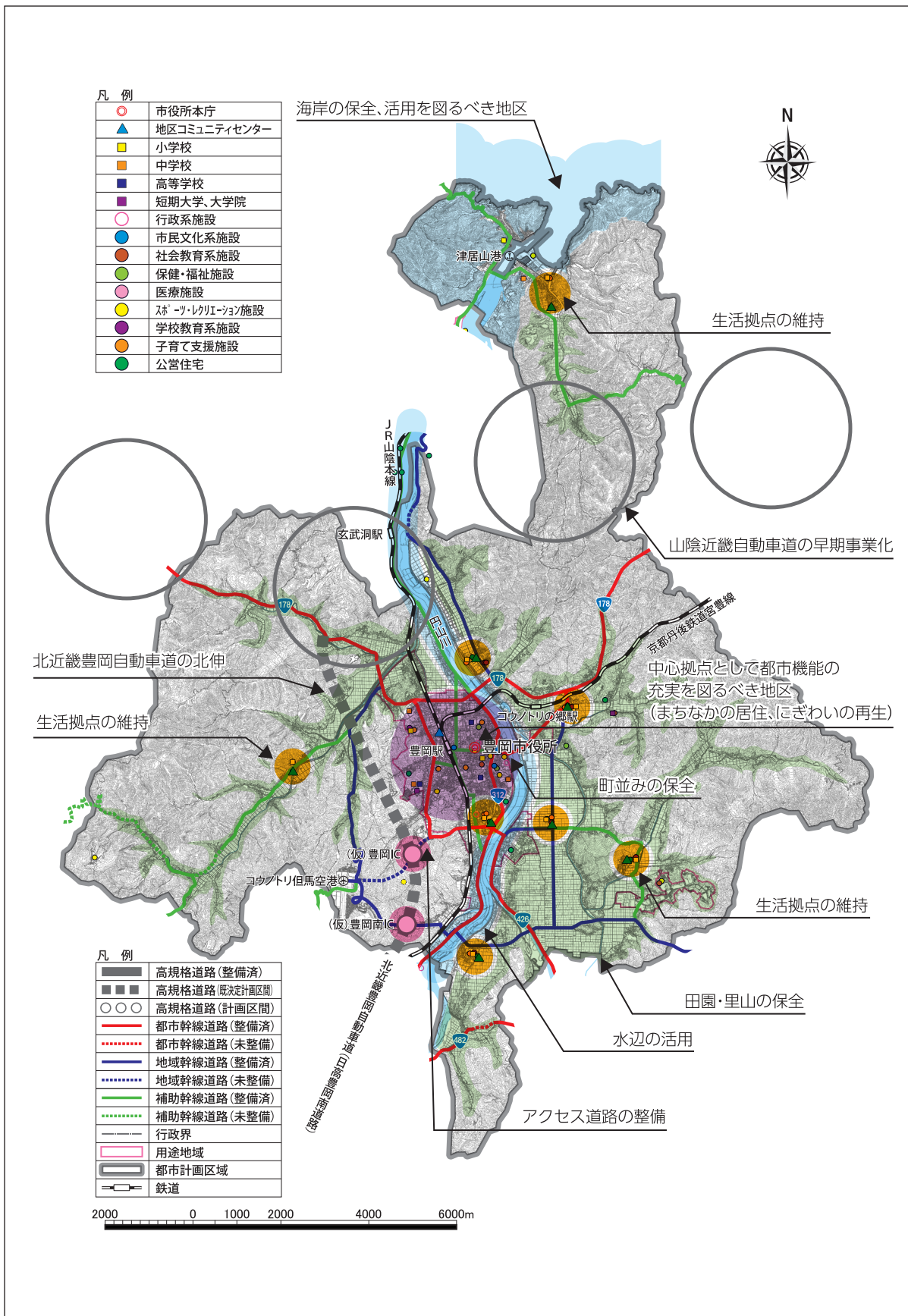
(ウ)復興の歴史を尊重した町並みの維持保全

- a 北但大震災復興のシンボルでもある復興建築群等の活用などにより、新たな観光資源の発掘を支援し、地域資源や特性を活かした魅力ある商店街、市街地環境の創出に努めます。

(エ)豊かな水と緑、田園の保全と活用

- a コウノトリも住める環境の確保や交流の場として、自然豊かな環境の維持及び向上に努めます。
- b 市街地周辺の優良農地が広がる地域については、良好な自然環境を保全するとともに、積極的に活用することで、観光や環境学習、レクリエーション等の場の確保に努めます。
- c 海岸環境の保全を図りつつ、自然と観光の調和した海洋性レクリエーション整備を促進します。





図表5-2. 豊岡地域まちづくり構想図